

2025年度後期 開講学科別集計結果表

常葉大学

開講学科	保育学科	履修者数	2,113
------	------	------	-------

回答者数	1,084
------	-------

学年 マーク	回答者数／構成比 (%)				
	1年	2年	3年	4年	無効回答
	368	440	208	68	0
	33.9	40.6	19.2	6.3	0.0

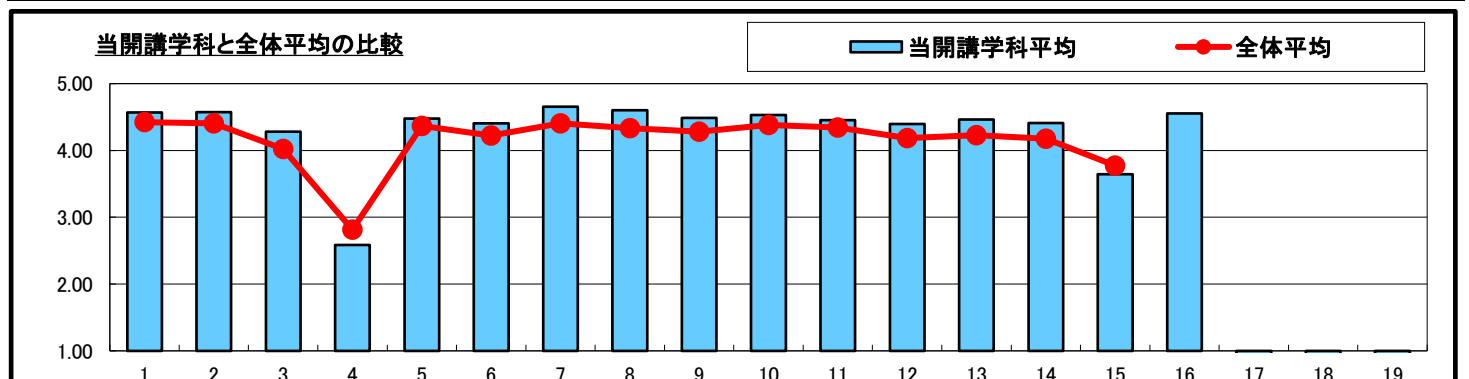
No.	設問文	平均	回答者数／構成比 (%)					有効 回答	無効 回答
			5	4	3	2	1		
			とても そう思う	やや そう思う	どちらとも いえない	あまりそう 思わない	全くそう 思わない		

▼全学部共通の質問項目									
1	学修環境（プロジェクタ・音響・空調・照明・静粛性）は良好であった	4.57	697 64.4	325 30.0	45 4.2	12 1.1	4 0.4	1,083	1
2	クラスサイズ（受講者数）やグループサイズは適切であった	4.57	712 65.8	305 28.2	47 4.3	11 1.0	7 0.6	1,082	2
3	周りの学生の熱意が感じられた（熱心に授業に参加していた）	4.28	507 46.9	417 38.5	115 10.6	39 3.6	4 0.4	1,082	2

▼学部レベルの質問項目									
4	この授業に対する授業時間外学修にどの程度の時間を費やしましたか（1回の授業の前後）	2.58	2時間以上 87 8.0	1時間以上 2時間未満 148 13.7	30分以上 1時間未満 303 28.0	30分未満 316 29.2	全くして いない 229 21.1	1,083	1
5	シラバスに則した内容の授業が行われていた	4.48	631 58.2	352 32.5	93 8.6	3 0.3	5 0.5	1,084	0
6	この科目の難易度は適切であった	4.41	581 53.7	394 36.4	76 7.0	26 2.4	4 0.4	1,081	3
7	この科目は学部・学科の学びを深める上で有益であった	4.65	771 71.1	267 24.6	33 3.0	9 0.8	4 0.4	1,084	0
8	この科目は自らのキャリア形成や将来を考える上で役立った	4.60	729 67.3	298 27.5	43 4.0	11 1.0	3 0.3	1,084	0
9	【対面授業の場合】 この科目は対面で受講することが適切であった 【ポータルサイト等を活用した授業（オンライン授業）の場合】 この科目はオンラインで受講することが適切であった	4.49	695 64.5	273 25.3	67 6.2	23 2.1	19 1.8	1,077	7

▼教員個人レベルの質問項目									
10	教員の話し方は明瞭で聴き取りやすかった	4.53	685 63.3	319 29.5	53 4.9	16 1.5	9 0.8	1,082	2
11	板書、スライド、配布資料などは適切であった	4.46	634 58.6	345 31.9	75 6.9	18 1.7	10 0.9	1,082	2
12	学生に質問や意見を求める、発表の機会を設けるなど授業への参加を促していた	4.40	627 57.9	309 28.5	107 9.9	28 2.6	12 1.1	1,083	1
13	学生の反応や理解を確認しながら授業を展開していた	4.46	631 58.3	354 32.7	72 6.7	15 1.4	10 0.9	1,082	2
14	必要に応じて学生の受講態度への注意を適切に行っていた	4.41	612 56.6	337 31.1	107 9.9	18 1.7	8 0.7	1,082	2
15	この授業のシラバスを読みましたか	3.64	十分に 読んだ 259 23.9	よく読んだ 385 35.6	どちらとも いえない 282 26.1	ほとんど 読まなかった 106 9.8	全く読んで いない 50 4.6	1,082	2

▼学科設問									
16	この授業の学修を通して、保育学部のDP 5項目のうち1項目以上の力を身に付けることができたか	4.56	684 63.3	336 31.1	45 4.2	7 0.6	8 0.7	1,080	4
17		-	0 -	0 -	0 -	0 -	0 -	0	1,084
18		-	0 -	0 -	0 -	0 -	0 -	0	1,084
19		-	0 -	0 -	0 -	0 -	0 -	0	1,084



2025 年度後期授業アンケート 学科別集計結果表に対する講評

学科／課程	保育学科
講評者	保育学科長 山屋春恵

設問	講評
設問 1～3 「全学部共通の質問項目」について	保育学科の結果は、学修環境、クラスサイズ、学生の熱意の全項目で大学全体の平均を大きく上回りました。特に「周りの学生の熱意」は大学全体の評価と比較しても高く、皆さんが互いに刺激し合いながら意欲的に授業に臨んでいる様子が伺えます。良好な環境下で、専門職を目指すなど高い目的意識を持って学修に取り組めていることは非常に素晴らしいことです。今後も、この活気ある学びの姿勢を維持していきましょう。
設問 4～9 「学部レベルの質問項目」について	「学科の学びを深める上で有益」「将来のキャリア形成に役立つ」という項目は、4.6 を超える非常に高い評価となりました。一方で、授業時間外の学修時間は 2.58 と、大学平均の 2.81 を下回っています。将来に直結する学びであるという自覚は強いものの、自律的な学修には改善の余地があるようです。授業での気づきを定着させるためにも、予習・復習の時間を意識的に確保し、より深い専門性の獲得を目指してください。
設問 10～15 「教員個人レベルの質問項目」について	教員による授業展開（設問 10～14）は、全ての項目で大学平均を大きく上回り、高い満足度が示されています。特に資料の適切さや学生への配慮が高く評価されています。一方で、シラバスの通読（設問 15）は 3.64 と、大学平均の 3.77 を下回りました。授業のねらいや評価方法を正しく理解することは、効果的な学修に不可欠です。改めてシラバスを確認し、自らの学修計画を立てる習慣を身につけてください。
設問 16～ 「学科設問」について（該当学科のみ）	保育学部のディプロマ・ポリシー（DP）に関連する力の修得については、4.56 という非常に高い数値となりました。これは、多くの学生が授業を通じて、本学部が掲げる専門的な資質や能力を確実に身に付けていると実感している証です。卒業後の実践の場でも活かせる「確かな力」となるよう、引き続き自信を持って学問に励んでください。